

# 戦後民主主義が生んだ優生思想

## 優生保護法の史的検証

「優生法」としての  
優生保護法を検証する

「公共の福祉」の名のもとに、  
戦後民主主義社会において四八年間、  
優生思想を体現した法律が存在していた。  
「生まれては困る子ども」を生ませず、  
「子どもを持つてはいけない人」を峻別した  
優生保護法の歴史を解説する。



藤野 豊  
●著  
FUJINO Yutaka

2021年  
4月刊行!

A5判・並製・304ページ  
定価 1,800円+税  
(税込1,980円)  
ISBN978-4-86617-132-6

電子書籍版も同時刊行!

詳細は弊社HP電子書籍の案内ページをご覧ください

なぜ、違憲とされる法律が国会で成立し、国と自治体はこの法の下に、特定の障害者、病者に不妊手術を強制し、さらに、障害者や病者の生命の選別を正当化する優生思想を広く国民に浸透させてきたのか。その歴史的検証が本書の大きな課題である。なぜ、日本国憲法の下で特定の障害者、病者を差別する優生保護法が生まれたのか。なぜ、一九九六年まで優生保護法は維持されたのか。そこには特定の障害者、病者を国家と社会にとり「存在に値しない生命」とみなすナチズムの発想、二〇一六年七月二六日に起きた相模原障害者施設殺傷事件の発想と通じるものがあったのではないか。この法律を成立させ維持したことへの国（政府、国会）、自治体、さらには医学界、法曹界、宗教界、ジャーナリズム、そして、わたくしたちの責任が問われている今、わたくしへの回答を本書に記したい。

……本書序章より

序章

優生保護法の史的検証に向けて

- 1 本書執筆の経緯と課題
- 2 優生保護法の前史

第4章 優生保護法とハンセン病

はじめに

- 1 ハンセン病の体質遺伝説
- 2 国民優生法とハンセン病患者への不妊手術
- 3 優生保護法とハンセン病患者への不妊手術  
おわりに

第1章 日本国憲法下の優生保護法の成立

はじめに

- 1 優生政策の継続
- 2 優生保護法案（日本社会党の議員立法案）の提出
- 3 優生保護法の成立
- 4 「公共の福祉」による強制不妊手術  
おわりに

第5章 新潟県における優生保護法による人権侵害

はじめに

- 1 優生保護法の成立をめぐる新潟県議会の議論
- 2 新潟県の公衆衛生政策と優生保護法
- 3 新潟大学による精神障害者への人体実験事件
- 4 新潟県における「不幸な子どもの生まれない施策」
- 5 新潟水俣病と妊娠規制
- 6 新潟県における強制不妊手術の実態  
おわりに

第2章 迷走する優生保護法

はじめに

- 1 優生保護法の一九四九年の改正
- 2 優生保護法の一九五二年の改正
- 3 混迷する不妊手術の実態  
おわりに

第3章 優生保護法と「胎児条項」

はじめに

- 1 優生保護法のさらなる改正への議論
- 2 「胎児条項」の登場
- 3 「胎児条項」の背景
- 4 「不幸な子どもの生まれない施策（運動）」の展開
- 5 「胎児条項」の消滅  
おわりに

終章 優生保護法の「終焉」

おわりに

- 1 優生保護法への疑問の拡大
- 2 優生保護法から母体保護法へ

あとがき



既刊図書のご案内

「黒い羽根」の戦後史

炭鉱合理化政策と失業問題

藤野豊 著



敗戦後、日本の復興のための基幹産業と位置づけられながら、一九四〇年代末には合理化政策が推し進められた炭鉱産業。失業と悲惨な生活を強いられた炭鉱労働者とその家族に対して、世論を動かし「炭鉱離職者臨時措置法」ともかくも成立させるまでの一五年間を踏査。炭鉱を犠牲にして進められた、戦後日本の高度経済成長を検証する。

定価 2,800円＋税  
(税込3,080円)  
ISBN978-4-86617-079-4

孤高のハンセン病医師

小笠原登「日記」を読む

藤野豊 著



ハンセン病患者をことごとく療養所に收容しようとした癩予防法のもとで、自らの医学的知見にしたがい、絶対隔離の必要なし、と療養所外での自宅治療・通院治療を敢行した医師・小笠原登の「もうひとつのハンセン病治療」。その思想と実践を、遺された日記・諸資料を駆使して検証、実体に迫る。

定価 1,800円＋税  
(税込1,980円)  
ISBN978-4-905421-95-5

注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊  
発行 二六花出版 著 藤野豊  
戦後民主主義が生んだ優生思想  
優生保護法の史的検証  
定価 一、九八〇円(税込)  
ISBN978-4-86617-132-6

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。  
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話03(32063)8787

Fax 03(3206)8788

電子メール info@rikka-press.jp